



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月7日

上場会社名 株式会社オプティマスグループ 上場取引所 東
 コード番号 9268 URL http://www.optimusgroup.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 信哉
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 嘉悦 清隆 TEL 03 (3456) 1764
 四半期報告書提出予定日 2018年11月7日 配当支払開始予定日 2018年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	12,964	0.5	503	△37.8	540	△44.4	337	△46.7
2018年3月期第2四半期	12,897	—	808	—	971	—	633	—

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 238百万円 (△70.6%) 2018年3月期第2四半期 810百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	63.40	62.73
2018年3月期第2四半期	126.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	21,000	9,668	46.0
2018年3月期	20,690	9,471	45.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 9,668百万円 2018年3月期 9,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2019年3月期	—	27.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	30.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,169	11.6	1,588	31.2	1,610	21.1	1,503	65.3	281.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	5,353,045株	2018年3月期	5,293,125株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	56株	2018年3月期	33株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	5,329,102株	2018年3月期2Q	5,022,525株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は拡大基調にあるもののその勢いに鈍化が見られ、国際貿易をめぐる緊張の高まりもあり、先行き不透明感が強まっております。規模が世界最大のアメリカ経済は、中国との貿易摩擦により中国向け輸出の減少が見られるものの、雇用や所得環境の改善や株高を背景にした個人消費の増加や設備投資の増加により、景気は足元で堅調に推移しております。中国経済は、中国政府による国有企業の債務削減政策やアメリカとの貿易摩擦の影響による景気の減速傾向が見られます。ニュージーランド経済は、政策金利の過去最低水準である1.75%の据え置きが経済の下支えとなっているものの、世界的な原油価格の上昇やニュージーランド国内での労働コストの上昇により景況感に影響が出ております。

そのような状況のもと、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)における中核事業子会社である(株)日貿において、カメムシ問題(注1)によるニュージーランドの流通過程への影響の長期化、台風等による日本での仕入れにおけるオークションでの成約価格の上昇等からニュージーランドのディーラーの購買スタンスが慎重になったために、当第2四半期連結累計期間のニュージーランド向け中古自動車販売台数は15,661台と前年同期比12.8%減少となりました。

一方で、物流セグメントの中核事業子会社であるDolphin Shipping Australia Pty Ltdのニュージーランドへの輸送台数については、前述の中古自動車販売台数の減少があったものの、カメムシ問題の影響により輸送台数が前連結会計年度から当第2四半期連結累計期間へずれ込んだこともあり、19,036台と前年同期比3.6%増加となりました。

サービスセグメントにおいては、Trade Cars Limitedによる「SmartBuy」(注2)の販売やAuto Finance Direct Limitedによる個人向け自動車ローン事業が堅調に推移し、サービスセグメント全体の規模拡大等に伴う人員採用による人件費の増加がありました。

また、検査セグメントにおいては、ニュージーランド向け中古自動車販売台数の減少により(株)日本輸出自動車検査センターにおけるニュージーランド向けバイオ検査(検疫)件数が45,794件(同16.8%減)となった一方で、Vehicle Inspection New Zealand Limitedのニュージーランドにおける輸入車検台数が30,861台(同4.9%増)となり、外注費や人件費の増加がありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高129億64百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益5億3百万円(同37.8%減)、経常利益5億40百万円(同44.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億37百万円(同46.7%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(貿易)

前述のとおり、ディーラーの購買スタンスが慎重になったことによる中古自動車の販売台数の減少により、売上高は61億60百万円(前年同期比12.2%減)となりました。販売台数の減少等により、セグメント損失は1億15百万円(前年同四半期は59百万円の利益)となりました。

(物流)

前述のとおり、売上高の大部分を占めるニュージーランド向けの輸送台数について、ニュージーランド向け中古自動車の販売台数の減少があったものの、カメムシ問題の影響により前連結会計年度から当第2四半期連結累計期間へ輸送台数がずれ込んだこと等により、売上高は21億67百万円(前年同期比5.3%増)、セグメント利益は3億80百万円(同1.1%増)となりました。

(サービス)

前述のとおり、「SmartBuy」による販売や個人向け自動車ローン事業が堅調に推移したこと等により、売上高は30億51百万円(同40.0%増)となりましたが、規模拡大に伴う人員採用による人件費の増加等により、セグメント利益は29百万円(同35.4%減)となりました。

(検査)

前述のとおり、ニュージーランド向けバイオ検査(検疫)件数が減少した一方でニュージーランドにおける輸入車検台数が増加したこと等により、売上高は15億85百万円(同3.7%減)となり、人員コストの増加等により、セグメント利益は1億82百万円(同46.7%減)となりました。

(注)1. 2018年2月にニュージーランドのオークランドに入港した日本発の自動車運搬船においてカメムシ(害虫指定のクサギカメムシ)が発見され、車両の荷揚げが制限された事象

2. 「SmartBuy」:当社子会社のTrade Cars Limitedが同じく当社子会社の(株)日貿から中古自動車を仕入れ、船舶輸送、輸入手続、コンプライアンスセンターへの配送、ニュージーランドにおける輸入車検等を組み合わせてパッケージとして販売する形態

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、162億21百万円となりました。これは主に現金及び預金が8億46百万円増加し、たな卸資産が7億60百万円減少したこと及びその他の流動資産が2億55百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ9.3%増加し、47億79百万円となりました。これは主に検査セグメントにおける検査設備の増加等により有形固定資産が4億14百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1.5%増加し、210億円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ7.6%減少し、98億93百万円となりました。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が10億93百万円減少し、その他の流動負債が3億26百万円増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ178.9%増加し、14億38百万円となりました。これは主に長期借入金が9億50百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1.0%増加し、113億31百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2.1%増加し、96億68百万円となりました。これは主に配当金の支払額1億37百万円と親会社株主に帰属する四半期純利益3億37百万円により利益剰余金が2億円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べて8億37百万円増加し、50億32百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結結果計期間において営業活動の結果増加した資金は15億57百万円(前年同期は7億86百万円の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益5億29百万円、たな卸資産の減少7億43百万円、減価償却費1億53百万円等の増加要因と売上債権の増加1億19百万円、法人税等の支払額1億14百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結結果計期間において投資活動の結果減少した資金は4億97百万円(前年同期は5億11百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出5億99百万円等の減少要因と有形固定資産の売却による収入1億37百万円等の増加要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結結果計期間において財務活動の結果減少した資金は1億76百万円(前年同期は5億60百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の純減額9億93百万円、配当金の支払額1億37百万円等の減少要因と長期借入金の純増額8億86百万円等の増加要因によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年8月17日の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,414,220	5,261,132
売掛金	8,102,279	8,139,709
たな卸資産	2,364,550	1,603,856
その他	1,540,707	1,285,211
貸倒引当金	△104,415	△68,724
流動資産合計	16,317,342	16,221,185
固定資産		
有形固定資産	3,744,009	4,158,158
無形固定資産	90,271	102,632
投資その他の資産		
その他	607,017	586,379
貸倒引当金	△67,958	△67,915
投資その他の資産合計	539,058	518,464
固定資産合計	4,373,339	4,779,254
資産合計	20,690,681	21,000,440
負債の部		
流動負債		
買掛金	367,394	331,401
短期借入金	7,910,480	6,901,440
1年内償還予定の社債	53,400	53,400
1年内返済予定の長期借入金	1,128,252	1,043,838
未払法人税等	118,583	128,602
賞与引当金	75,004	57,911
その他	1,050,070	1,376,748
流動負債合計	10,703,185	9,893,343
固定負債		
社債	132,500	105,800
長期借入金	90,538	1,040,906
退職給付に係る負債	131,450	140,910
その他	161,113	150,533
固定負債合計	515,601	1,438,149
負債合計	11,218,787	11,331,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,104	431,100
資本剰余金	1,826,462	1,874,458
利益剰余金	7,990,266	8,190,488
自己株式	△80	△126
株主資本合計	10,199,752	10,495,920
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△727,858	△826,972
その他の包括利益累計額合計	△727,858	△826,972
純資産合計	9,471,894	9,668,948
負債純資産合計	20,690,681	21,000,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	12,897,969	12,964,036
売上原価	9,899,217	10,207,885
売上総利益	2,998,751	2,756,151
販売費及び一般管理費	2,190,139	2,252,868
営業利益	808,612	503,283
営業外収益		
受取利息	46,661	39,318
為替差益	145,902	—
持分法による投資利益	13,282	10,326
その他	47,464	57,143
営業外収益合計	253,311	106,789
営業外費用		
支払利息	78,711	65,437
為替差損	—	3,623
その他	11,219	990
営業外費用合計	89,930	70,051
経常利益	971,993	540,020
特別利益		
固定資産売却益	956	2,975
関係会社清算益	7,231	—
特別利益合計	8,188	2,975
特別損失		
固定資産除売却損	—	13,286
特別損失合計	—	13,286
税金等調整前四半期純利益	980,181	529,709
法人税等	346,414	191,867
四半期純利益	633,766	337,842
親会社株主に帰属する四半期純利益	633,766	337,842

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	633,766	337,842
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	176,384	△98,795
持分法適用会社に対する持分相当額	586	△318
その他の包括利益合計	176,971	△99,113
四半期包括利益	810,737	238,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	810,737	238,728
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	980,181	529,709
減価償却費	111,293	153,482
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,545	△33,931
受取利息及び受取配当金	△52,852	△42,885
支払利息	78,711	65,437
為替差損益 (△は益)	△109,140	61,493
持分法による投資損益 (△は益)	△13,282	△10,326
固定資産除売却損益 (△は益)	△956	10,311
関係会社清算損益 (△は益)	△7,231	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△31,581	△119,758
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△115,464	743,044
仕入債務の増減額 (△は減少)	131,292	△43,200
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	335,779	110,796
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△30,557	183,940
その他	△17,194	80,583
小計	1,253,450	1,688,698
利息及び配当金の受取額	59,615	46,492
利息の支払額	△79,011	△64,023
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△447,387	△114,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	786,667	1,557,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△216,430	△8,409
有形固定資産の取得による支出	△289,629	△599,902
有形固定資産の売却による収入	4,657	137,997
無形固定資産の取得による支出	△17,854	△23,118
関係会社の清算による収入	7,231	—
貸付金の回収による収入	1,001	5,442
その他	△376	△9,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△511,399	△497,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△993,415
長期借入れによる収入	173,199	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△706,999	△113,486
社債の償還による支出	△26,700	△26,700
株式の発行による収入	—	95,518
配当金の支払額	—	△137,539
その他	—	△392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△560,500	△176,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	114,844	△45,908
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170,388	837,770
現金及び現金同等物の期首残高	4,463,194	4,195,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,292,806	5,032,774

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号(金融商品)及びIFRS第15号(顧客との契約から生じる収益)を適用しております。

当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,015,447	2,057,454	2,179,112	1,645,955	12,897,969	—	12,897,969
セグメント間の 内部売上高又は振替高	854,634	260,599	25,442	314,024	1,454,701	776,235	2,230,937
計	7,870,082	2,318,054	2,204,555	1,959,979	14,352,671	776,235	15,128,907
セグメント利益	59,429	376,756	45,949	342,142	824,276	238,066	1,062,343

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社のものです。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	824,276
「その他」の区分の利益	238,066
セグメント間取引消去	△253,730
四半期連結損益計算書の営業利益	808,612

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,160,422	2,167,010	3,051,529	1,585,074	12,964,036	—	12,964,036
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,082,869	288,956	41,756	368,308	1,781,891	874,707	2,656,598
計	7,243,292	2,455,967	3,093,285	1,953,383	14,745,928	874,707	15,620,635
セグメント利益又は損失 (△)	△115,677	380,753	29,701	182,242	477,019	329,786	806,805

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社のものです。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	477,019
「その他」の区分の利益	329,786
未実現利益の調整額	51,903
セグメント間取引消去	△355,426
四半期連結損益計算書の営業利益	503,283

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。